



学校だより ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

平成30年11月30日

12月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 田中 さくら

ニレの木スタディフェスタに向けて



日に日に冬に向かって、吹く風の冷たさを感じるようになりました。明日12月1日土曜日は、いよいよ創立30周年記念ニレの木スタディフェスタです。1年生から6年生までが、日頃の学習の成果を発表し合う学習発表会です。同時に学校運営協議会も行われ、地域の方々にも、保護者の方々にも参観していただきます。

今年のスローガンは「エンジョイ釜南 仲間と協力して、学習を生かせるスタディフェスタにしよう！」です。どの学年も熱心に友達と力を出し合い、リハーサルも行い、当日に向けて一生懸命準備をしました。

ここで特に紹介したいのは、特別音楽クラブの開会式での発表です。特別音楽クラブは、4・5・6年生の希望者ですが、約3か月間、朝練習を頑張りました。初めはトランペットなども音が出なくて、小学生には難しいのでは？と思っていましたが、見事に音がよく出て、全員の気持ちも全体演奏もそろってきました。

次に紹介したいのは、6年生の琴の演奏です。琴の常田俊子先生が、毎日のように来校し、ご指導いただいています。初めは、音を奏でるより、足がしびれ、正座にも慣れていなかった6年生でしたが、日に日に、上手に奏でることができるようになりました。翌日の12月2日日曜日は、横浜市立大学のシーガルホールで行われる金沢区小中学校音楽祭にも、6年生18名が出演することになりました。



次に紹介したいのは5年生のお米作りです。5年生は山形のJA羽黒の青年部の方から、選りすぐりの稲の苗をいただき、米作りを始めました。6月に来校いただいて羽黒の米作りについて学びました。さらに土作り、田植え、稲刈りの仕方など年間を通じて、地域の山木さんにご指導いただいています。夏休みの水の管理等でもお世話になりました。先週の収穫を祝う「感謝の会」にも、またJA羽黒の青年部の方々が来てくださり、収穫したお米を試食しながら交流を深めることができました。

最後に紹介したいのは、日光からのお客様です。6年生全員が、10月30～31日に日光修学旅行で、泊まった旅館「梅屋敷」の素晴らしいおもてなしをしてくださった女将さんに、お世話になったお礼のお手紙を書きました。その手紙の中で、スタディフェスタのことを書くと、それを読んだ女将さんが、全員からのお手紙にも感激して、ぜひ釜利谷南小学校のスタディフェスタを参観したいということで、豆女将の梅ちゃんも一緒に、わざわざ日光から横浜に来てくれることになりました。改めて、お願いの電話も6年生は丁寧にかけて、交流をさらに深めていました。

このように、どの学年も様々な方々のご指導を受け、支えられて、明日のスタディフェスタを迎えます。子どもたち一人一人が生き生きと自信をもって、学習の成果を発表できることを願っています。各学年、発表だけでなく、来場いただいた方の参加型、体験型の発表も計画しています。どうぞ、ぜひご参会いただき、お楽しみ、ご指導いただけますようお願いいたします。